

緑のまきば

1980. №17

小金井緑町教会
小 金 井 緑 町 教 会
小金井市緑町四一十六一三三
電話〇四二三一八一七九六一
編集 牧師 山 本 圭 一

教 説

なぜこわがるのか

(マタイ8章23〜27)

山 本 圭 一

恐れ—これこそわれわれを混乱させ、破滅させるものの根っこにある宿敵である。近代科学文明の恩恵を多く受けている今日、それとはおよそ逆に、言い知れない不安のかずかずにおののいている。

II

このような恐れや不安は、なぜ起きるのだろうか。ボンヘッファ

炎熱の昼下り、太陽は容赦なく照りつけ、そこに生活している人

「われわれが罪の中に陥っているから、そのような恐れを持つというのは正しくない。恐れの中に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に「われわれが罪の中に陥っているから、そのような恐れを持つというのは正しくない。恐れの中に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

に不安になつて人こそ、すでに罪のただ中

配することなく悠然とかまえていたに違いない。
ところが突然、海上に激しい暴風が起つて舟は波にのまれそうになつた。暴風、これは地震(サイモス)の意である。立つている場所が根底から揺れ動き、破壊され、存在そのものが失なわれてしまうのである。荒れ狂う海を前にして弟子たちの自信は打ち砕かれ、偽りの姿が暴露されたのである。

III

とところが、イエスは眠つておられた。驚くべき対照である。そこに充滿しているのは、父なる神に対する絶対的信頼である。自分自身によつてではなく、穏やかな海を見ているだけでなく、都合のよい事情を夢みるのでなく、自分の力、他人の力を信ずるのでもなく、嵐が吹こうが吹くまいが、主は父なる神との信頼の中に生き給う。これこそ、主が嵐の中で眠り給うことの示す不動の真理である。

そこで弟子たちはみそばに寄つてきてイエスを起し「主よ、お助け下さい、わたしたちは死にそうです」と言った。するとイエスは彼らに言われた、「なぜこわがるのか、信仰の薄い者たちよ」

しかし、もう一つのことを考

てみなければならぬ。ギリストが舟の中にいますところに向つて嵐が吹き荒れたことである。サタンはただギリストを無きものにしてやうとしてたけり狂う。弟子たちの心から、そしてわれわれの心からもギリストへの信頼を奪い去ろうとして、サタンは働く。

8章26節は厳密には「イエスは彼らに言われる。」である。現在形の動詞が用いられている。

弟子たちやわれわれの恐れに対して、主は今、現在語り給う。「なぜこわがるのか」と。そこには十字架にかゝられた主が復活の主として現臨し給う。聖書の執りなしを今与えて下さる。だからこの嵐の中で海をしずめ給うたギリストを、われわれは、この小舟—教会のなかで常に仰ぐのである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。

恐れ—これこそわれわれを混乱させ、破滅させるものの根っこにある宿敵である。近代科学文明の恩恵を多く受けている今日、それとはおよそ逆に、言い知れない不安のかずかずにおののいている。

このような恐れや不安は、なぜ起きるのだろうか。ボンヘッファ

とところが、イエスは眠つておられた。驚くべき対照である。そこに充滿しているのは、父なる神に対する絶対的信頼である。自分自身によつてではなく、穏やかな海を見ているだけでなく、都合のよい事情を夢みるのでなく、自分の力、他人の力を信ずるのでもなく、嵐が吹こうが吹くまいが、主は父なる神との信頼の中に生き給う。これこそ、主が嵐の中で眠り給うことの示す不動の真理である。

これは、ボンヘッファの言葉をかりるならば次の三つのことを意味する。(1)聖書を読み思いめぐらすこと (2)祈ること (3)とりなすこと。これらの三つは皆、われわれキリスト者の日ごとの「黙想の時間」に見出されねばならない。この黙想には、何も特別な意味はない。これこそ教会の古い言葉であり、宗教改革の宝の言葉であり、われわれに約束された平安のことばである。